

第5回 宇都宮市東部地域渋滞対策協議会

議事概要

1 日時

令和5(2023)年11月17日(金) 10:00~11:30

2 場所

栃木県庁 研修館 302 研修館

3 出席者

別紙「出席者名簿」のとおり

4 議事

- (1) 交通量 AI 画像解析の状況について (資料1)
- (2) LRT 開業前後の交通状況について
 - ① 交通量の状況 (資料2)
 - ② 旅行時間の現況 (資料3)
 - ③ LRT の利用状況 (資料4)
- (3) LED 表示板設置の社会実験計画案について (資料5)
- (4) P&R の社会実験計画案について (資料6)

5 議事概要

- ・宇都宮大学から交通量 AI 画像解析について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。
- ・事務局、本田技研工業(株)、宇都宮ライトレール(株)から LRT 開業後の交通状況について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。
- ・事務局から LED 表示板設置の社会実験計画案及び P&R の社会実験計画案について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。

6 主な質疑・意見

- (1) 交通量 AI 画像解析の状況について

○大沼委員

- ・今回の結果では高い精度が出ているが、細かく見ると時間帯や方向で若干の差異が出ている。これは、実際に同じ箇所でも日によって走行車両の軌跡が変わることによる誤差が出ている。
- ・東進と西進で精度の差異があるのは、東進は画面に通過車両が近い状態で撮影され、車

が大きく写るのに対し、西進は車両が画面から遠いことから検知精度が下がることが理由である。交差点が大きいことから1台のカメラで検証するには限界の精度である。

○長田会長

- ・車両の走行軌跡について、時間帯によって交差点で転回している車両数を見られることから、この先走行軌跡の分析や、速度計測により画面内を走行する車両の速度がどのように変化しているか等を分析できるのではないかと考えている。

○吉田委員

- ・昨年度のデータと比較すると飛躍的に精度が上がってきており、AI 技術で交通モニタリングを行う可能性が開けてきた。
- ・画質を上げていくとデータ量が重くなるので、処理方法等の工夫が必要になる。
- ・基幹的な公共交通と並走する自動車交通をモニタリングする手法は今までにない方法なので、データを取得するという意味では非常に価値があるものだと思う。

(2) LRT 開業前後の交通状況について

○吉田委員

- ・3種類のデータをみると、すべり出しは順調なのではないかと感じる。
- ・LRT の乗降客について、平日は推計した数に近いが、土日の乗降客が推計の3倍となっていることは整備効果が出ており、非常に喜ばしいことである。
- ・開業直後で自動車利用者も大きな混乱はしていない現状がわかった。工事期間の5年間でドライバーの意識変容がされてきたのだと感じた。
- ・LRT 軌道整備に伴い車線数を減らした影響による顕著な旅行速度減少は見られていない印象である。
- ・今後は特定の箇所毎の対応を注目していかなければならない。例えば、国道4号との立体交差部と土日のベルモール利用者については、体感でも影響が出ていると感じる。
- ・車両交通量と車線数のバランスについてデータを見ながら分析することは重要なことであるため、引き続きのデータ解析に期待している。
- ・LRT の運行について平日や土日に遅延は発生しているのか。また、全運行本数のうち、土日に定時で運行できる本数の割合はどれくらいか。

(中尾委員 (代理：高坂氏))

- ・平日はほぼ定時での運行が出来ている。遅延が発生するとしても数分程度。
- ・土日も平日と同様にほぼ定時で運行できている。遅延が発生したとして最大で10分程度。本数の割合までは現時点把握していない。

○大澤委員（代理：國見氏）

- ・警察としても LRT 開業により自動車交通に大きな混乱を招いていないという見解である。
- ・10 月以降も本協議会の蓄積しているデータを参考にしながら自動車利用の変容を確認していきたい。

○長田会長

- ・年末に向け交通の変化が起きてくるため、注視していきたい。

（3）LED 表示板設置の社会実験計画案について

○中尾委員（代理：高坂氏）

- ・アンケート結果の中で LRT の動きに関する不安を感じている方がいるが、具体的な理由は把握できているか。

（事務局）

- ・今回実施した web アンケートでは具体的な理由までは問えていない。今後予定しているアンケートについては、設問や回答方法等について検討していきたい。

○谷委員（代理：林氏）

- ・過年度の LED 表示板について設置されていることを認知しているドライバーが少なかったという意見も聞いている。幅広く周知し、効果を高めてほしい。

（4）P&R の社会実験計画案について

○矢野委員（代理：荒川氏）

- ・飛山城跡では、市で所有していた土地を有効活用し駐車場を増設している。
- ・県外の方から宇都宮市駅周辺に行くために LRT を利用しようと郊外の駐車場を利用しようとした際に駐車場が利用できないという声も聞いている。市街地への流入抑制の効果もあるのかと思っている。市の方でも駐車場の利用の実態を調査していきたい。

○吉田委員

- ・県外からの乗降客をみると、郊外の駐車場に車を駐車し LRT を利用して市街地に行き観光を楽しむ方法が、駅前の有料パーキングを利用するよりも経済的であり、子供がいる家庭では LRT を楽しむといった付加価値もある。そういった利用がリピートにも繋がり、今後の取組は重要になってくる。
- ・駐車場の容量が少ないことが課題であるが、非常に意味のあるものだと感じている。

○長田会長

- ・観光客に対しても駐車場をPRして利用してもらうことによりまちなかの賑わい創出にも繋がっていくと思う。積極的なPRが必要である。

—以上—